

2020年2月5日

## 欧州照明デバイス事業会社の株式譲渡について

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社(以下、「当社」)は、当社 100%出資の連結子会社で欧州にて照明デバイス事業を展開しているパナソニック ライティング ヨーロッパ 有限会社(以下、「PLE」)の全株式を、ドイツに拠点を置く投資会社 Fidelium Partners に譲渡する株式譲渡契約を締結しました。

当社は、欧州での照明デバイス事業の拡大を主な目的として、2002年8月にドイツの照明デバイスメーカー フォスロ・シュワーベ社(現、PLE)を買収し、欧州の照明器具メーカーに対して、蛍光灯や水銀灯など従来光源用の点灯装置や、LED照明用の電源ユニットなど照明デバイスの販売強化を進めてきました。

しかしながら、LEDの普及による新規参入の増加など照明業界はグローバルで競争が激化しています。特に、欧州市場においては、LEDを光源とする照明デバイスのコモディティ化、およびLED化に伴う垂直統合型ビジネス<sup>(※1)</sup>へのシフトが進んでいます。このような中、当社は事業の「選択と集中」を加速させるため、PLEが欧州で蓄積してきた技術力、商品力を高く評価し、欧州で持続的に事業を成長させることが期待できる、Fidelium Partnersへ株式譲渡を決定しました。

今後、当社は照明事業のさらなる成長持続・拡大のため、国内ではストック市場のLED化の加速や、新価値・高付加価値製品の普及拡大に注力します。また、東南アジア、インド、中国などでの照明器具の販売を成長エンジンとして、国内・海外の両面で、収益を伴った持続的成長を実現できるよう、取り組んでいきます。

さらに、「光源・器具によるあかりの価値」を高めつつ、クロスバリューでの空間ソリューションによる価値提供事業への進化を加速させていきます。

※1:垂直統合型ビジネス:

標準化された「光源(ランプ)」、点灯装置などの「照明デバイス」、および配光制御などを備えた「照明器具」のそれぞれが独立した事業を行う業界構造の「水平分業」に対し、「光源」「照明デバイス」「照明器具」の事業が統合されたビジネスのこと

<ご参考>

【パナソニック ライティング ヨーロッパ有限会社の概要(2019年3月末現在)】

社名:パナソニック ライティング ヨーロッパ有限会社

英語名:Panasonic Lighting Europe GmbH

所在地:ドイツ、リューデンシャイド

設立:1919年

代表者:CEO 宮本 勝文

資本金・資本準備金:82.8百万ユーロ

資本構成:パナソニック(株)100%

事業内容:照明デバイスの開発・製造・販売

人員:1,063名

売上高:161百万ユーロ(2018年度)

【Fidelium Partners の概要】

社名:Fidelium Partners

所在地:ドイツ、ミュンヘン

設立:2017年

代表者:Dominik Beck (共同設立者、マネージングパートナー)

Rafal Grabarkiewicz (共同設立者、マネージングパートナー)

以上